情報種別: G 外秘

会社名:株式会社 NTT データ情報所有者:システム技術本部

統合開発クラウド グループ会社プライム案件 ETRANPOT 接続手順書

2022 年 3 月 株式会社 NTT データ システム技術本部

目次

基本	用語	4
第1章	開発端末から ETRANPOT にアクセスするための設定	6
1.1	UDS の「ホワイトリスト」に ETRANPOT のアドレスを追加する	6
第2章	社内ネットワークの PC から開発端末へファイル送付	12
2.1	社内ネットワークの PC から ETRANPOT でファイルを送付する。	12
2.2	開発端末から ETRANPOT にアクセスする	18
第3章	開発環境から社内ネットワークの PC ヘファイル送付	22
3.1	社内ネットワークの PC で ETRANPOT の招待メールを送付する	22
3.2	開発端末からファイルを ETRANPOT ヘアップロードする	25
3.3	社内ネットワークの PC でデータを受け取る	28

はじめに

本資料は、UDS 契約を有する開発ダッシュボードの担当者(以下「UDS 保有担当者」とする)が「統合開発クラウド」上の UDS 契約を保有した OpenStack テナントに構築した windows クライアントと社内ネットワーク上の PC 間の、ETRANPOT を用いたファイル共有手順を記載する。

※本資料は UDS 保有担当者向けに作成しておりますが、グループ会社内の各案件に本資料を共有する場合は、UDS 保有担当者のみ設定できる手順がありますのでご注意ください。

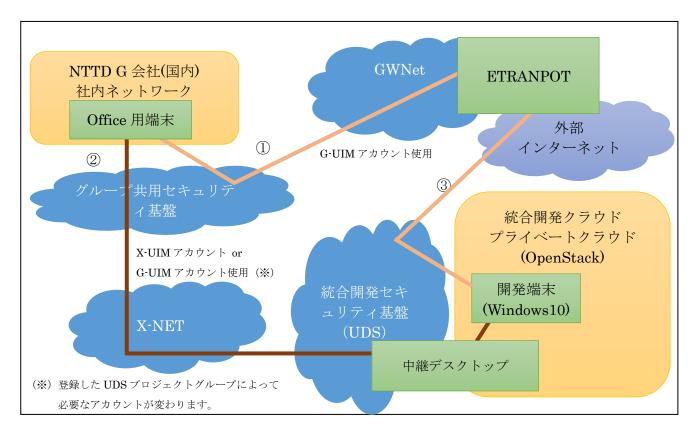


図 1. イメージ図

- ① NTTD G 会社の社内ネットワークの PC(Office 用端末)から、ETRANPOT にアクセスしデータを送受する。
- ② NTTD G 会社の社内ネットワークの PC(Office 用端末)から、中継デスクトップを経由して統合開発クラウド上の開発端末にリモートログインする。
- ③ 統合開発クラウド上の開発端末から、ETRANPOT にアクセスしてデータを送受信する。

以降は下記図を用いて手順を説明する。

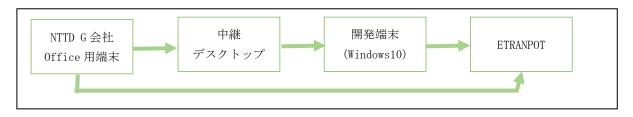


図 2. 作業場所

基本用語

統合開発クラウドの基本用語を以下に示す。

表 1 基本用語

項目	説明
案件	統合開発クラウドの基本的な提供単位。案件ごとに独立したダッシュボードが利用できる。
開発ダッシュボード (ダッシュボード) 案件ごとに作成する、統合開発クラウドのサービス利用時の入り口。	
ダッシュボード管理者	開発ダッシュボードを管理者権限で利用できる管理者。開発ダッシュボードから各サービスの利用を申請できる。通常のプロジェクトにおけるインフラチームのリーダやそれに準ずる役割が相当する。
ダッシュボード利用者	開発ダッシュボードを利用者権限で利用できる利用者。開発ダッシュボード経由で各案件のダッシュボード情報を参照できる。構築済みのサーバ環境に直接 SSH や RDP 等でログインする作業者、すなわち通常のプロジェクトの開発や試験の作業担当者が相当する。
テナント管理者	プロジェクト環境の統合開発クラウドリソースの管理者。OpenStack 管理画面を利用可能。
テナント利用者	本サービス上のプロジェクト環境の利用者。
スタック構成	本サービス上でシステムが動作する環境の単位。各プロジェクトにおいては試験環境の1面に相当。
プロジェクトが任意の設定で利用可能な専用の空間。テナント間のネットワー 割されている。	
社内ネットワーク	各社が保有し運用管理する各社の業務の遂行を目的としたネットワークをいう。 社内ネットワークには、以下が含まれる。 ・役員、社員、協働者が社内システムやインターネットのサービスを利用するためのネットワーク ・社員、協働者がシステム開発を行うためのネットワーク(開発ネットワーク) ・社外ネットワークとのすべての接続点等
開発ネットワーク	社内ネットワークのうち、社員、協働者がシステム開発を行うためのネットワークをいう。
社外ネットワーク	社内ネットワークに含まれないネットワークをいう。社外ネットワークには、以下が含まれる。 ・ 社内ネットワークへのリモートアクセスするための電話、ISDN 網 ・ インターネット ・ 他社ネットワーク
ETRANPOT	株式会社 NTT データが運用する、NTT データ・NTT データグループ会社及びインターネット
(エトランポット)	上で利用するユーザ間における、セキュアなファイル転送システム。
X-NET	NTT データの全社員および全開発委託先協働者 (以下、全プロジェクト関係者) がアクセ
(クロスネット)	スできる、開発用のインフラ環境。
X-UIM (クロスユーアイエム)	X-NET 上および NOA ネットワーク上の業務システムを利用する際の、ユーザ認証機能および ユーザ情報管理機能を提供する認証管理基盤システム。
X-NET ポータルサイト	X-NET の入り口に相当し、X-UIM など X-NET 上の各システムへのリンク機能や、各システムのメンテナンス等のお知らせを提供するポータルサイト。
NOA (ノア) ネットワーク	

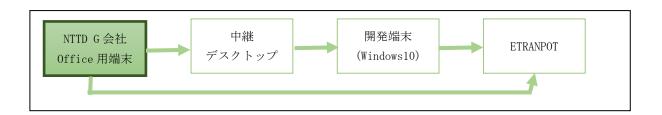
項目	説明
グループ会社	NTT データグループ協定を締結した会社
GroupWideNet	グループ会社、関連会社が利用するグループ間の情報化のためのネットワークおよびネットワー
略称 GWNet	ク上のサービスの総称。
G-UIM	GWNet および X-NET を利用する際の、ユーザ認証機能およびユーザ情報管理機能を提供する認証管理基盤システム。
グループ共用セキュリティ基盤	NTT データが提供するグループ会社を対象としたセキュリティ機能を共用するサービスの総称。
統合開発セキュリティ基	Unified Development Infrastructure Service
盤サービス	NTT データ技術革新統括本部 IT マネジメント室が提供する開発 LAN・独立 LAN 向けの
略称 UDS	セキュリティ環境を共用するサービスの総称。
	GWNet および X-NET を利用する際のユーザ認証において入力する ID。
	NTT 健保加入会社 : 氏名コード (数字 7 桁)
GWNet ログイン ID	非 NTT 健保加入会社 : G + xx + yyyyy
または	xx : 会社番号[英数字 2 桁]
G-UIM アカウント	уууу : 社内番号[英数 4~7 桁]
G OIM / MJJ/	関連会社 : A + xx + yyyyy
	xx : 会社番号[英数字 2 桁]
	уууу : 社内番号[英数 4~7 桁]
X-UIM アカウント	X-NET を利用する際のユーザ認証において入力する ID。
V-01M / W / / /	CURE 申請で入手した ID: U + 数字 6 桁
X-UIM	組織や役職など、既存の枠組みにとらわれない人の集まり(グループ)。グループを利用して、
グループ	グループ単位での GWNet 上の Web サイト等のアクセス制御が可能。 一般グループとプロジェ
-71V-7	クトグループがある。X-UIM/G-UIM アカウントどちらで作成したかにより認証が異なる。
X-UIM	Web アクセス制御などに利用するグループ。メンバーの追加・削除が自由におこなえる。
一般グループ	
X-UIM	PM ワークベンチを利用するなど、アクセス制限をおこなうためのグループ。メンバーの追加にはグ
プロジェクトグループ	ループ管理者/グループ代行者による申請・承認が必要。
	統合開発セキュリティ基盤を利用するプロジェクトを定義するために作成。UDS アクセス中継
UDS	サービス、開発 BXO などの認証をおこなうためのグループ。メンバーの追加にはプロジェクト管理
プロジェクトグループ	者/プロジェクト副管理者による申請・承認が必要。
	X-UIM/G-UIM アカウントどちらで作成したかにより認証が異なる。

第1章 開発端末から ETRANPOT にアクセスするための設定

UDS 保有担当者のみ設定可

この章では、統合開発クラウド上の開発端末から ETRANPOT にアクセスできるよう、統合開発セキュリティ基盤(UDS)のセキュアインターネットアクセスサービス・認証不要リストに ETRANPOT のアドレスを追加する方法を記述する。

1.1 UDS の「ホワイトリスト」に ETRANPOT のアドレスを追加する



1. [開発ダッシュボードログイン]画面を開く。

注釈

開発ダッシュボードログイン画面の URL:

[https://udc-dashboard.x-network.jp/dsbd/user_login]

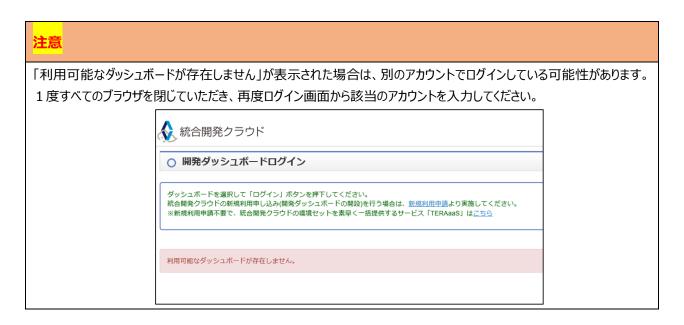
※ログイン画面が表示された場合は、表 1-1 の内容を記述して「Login」ボタンをクリックする。

X-UIM プロジェクトグループの登録 ID(X-UIMか G-UIM)によって入力項目が変わります。



表 1-1 ログイン時の入力内容

項番	名称	X-UIM プロジェクトグループ(G-UIM)	X-UIM プロジェクトグループ(X-UIM)
1	ログイン ID(利用者 ID)	・G-UIM アカウント	・X-UIM アカウント CURE 申請で入手した ID(U から始まる 7 桁)を入力してください。
2	会社識別子	個社の会社識別子	nttdata
3	パスワード	G-UIM アカウントのパスワード	X-UIM アカウントのパスワード



2. [プルダウン]からダッシュボード名称で入力した「UDS 契約を保有しているダッシュボード名」を選択し、「ログイン」を押下する。



3. 「ダッシュボード」画面左側にある「既存契約確認・変更申請」を押下する。



4. [サービス詳細・変更]画面で「UDS: セキュアインターネットアクセスサービス申請」を押下する。



5. [認証不要サイトリスト]欄の「CSV エクスポート」を押下し、CSV ファイルをダウンロードする。



6. ダウンロードした CSV ファイルを Excel で開き、表 1-2 の内容を入力する。

表 1-2 認証不要サイトの入力項目

列	申請書と対応する名称	入力項目の説明
Α	設定 URL	https://spot-h.nttdata.co.jp
В	登録開始日付	申請日を入力ください。(例:2021/8/22)
С	登録終了日付	1 年先を入力ください。 (例: 2022/8/21)
D	サイトの内容	ETRANPOT for Internet
Е	備考	ETRANPOT for Internet に接続する為

7. 「CSV インポート」にて上記 CSV ファイルをアップロードする。



8. [利用料金内容確認]欄の「利用料金確認」を押下後、出力したポップアップより利用料金を確認して、ポップアップを閉じる。



9. 「利用料金について同意しました。また、利用料金が発生する場合、請求情報欄へも必要事項を記載しました。」にチェックを入れ、「処理」を押下する。

(「利用料金確認」が押下されていないと、チェックを入れることはできません。)



注意

申請完了までは1時間程度かかります。

「処理」を押下した際にエラーが表示された場合は、ホワイトリストおよび認証不要サイトの CSV を取得し、他の URL 含め下記について修正、再度登録の上申請してください。

- ・重複した URL の削除
- ・登録開始日付の最新化
- ・登録終了日付の最新化

※仕様の変更につきましては https://uds-portal.x-network.jp/uds/info.asp?news=2021112602 をご参照ください。

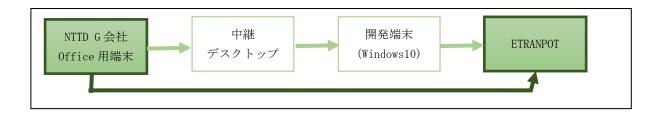
10. [申請/処理開始 [申請]]画面で「申請」を押下する。



第2章 社内ネットワークの PC から開発端末へファイル送付

この章では、統合開発クラウド上の開発端末から ETRANPOT にインターネット経由でアクセスするために、社内ネットワークの PC から GWNet ユーザで ETRANPOT にファイルをアップロード、Internet ユーザへ送信し、開発端末でファイルを受け取る方法を記述する。

2.1 社内ネットワークの PC から ETRANPOT でファイルを送付する。



1. 社内ネットワークの PC のブラウザ (Internet Explorer) で[ETRANPOT サイト]を開く。

注釈
ETRANPOT サイトの URL:【https://taa-h.groupwide.net】

※ログイン画面が表示された場合は、表 2-1 の内容を記述して「Login」ボタンをクリックする。



表 2-1 ログイン時の入力内容

項番	名称	入力項目の説明
1	ログイン ID(利用者 ID)	GW ネットログイン ID(G-UIM アカウント)を入力してください。
2	会社識別子	自社の会社識別子
3	パスワード	G-UIM アカウントのパスワード

2. 「I accept and login」を押下する。



3. 「新規文書作成はこちらから]の「create a new document」を押下する。



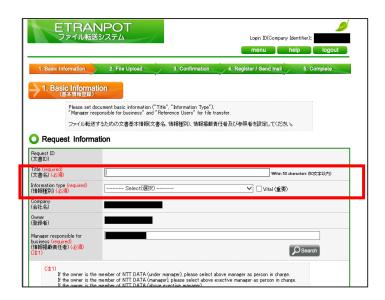
注意

ETRANPOT の詳細は、ETRANPOT サイトのマニュアルをご確認ください。

ETRANPOT サイト(https://taa-h.groupwide.net)

お問合せ:(株)NTT データ OI ヘルプデスク E-mail: oihelp@am.nttdata.co.jp

4. [Request Information]の必要事項を入力する。



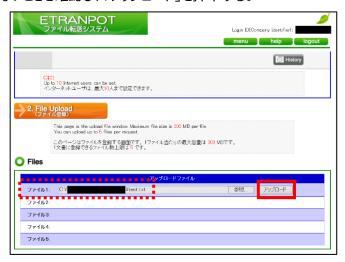
5. 「INTERNET Users」に自分自身のメールアドレスを入力し、「Next」ボタンを押下する。



注意 メーリングリストは入力しないでください。 6. 「参照」を押下し、送付したいファイルを選択する。



7. 送付するファイルに誤りがないことを確認し、「アップロード」を押下する。



8. ファイルがアップロードされたことを確認する。



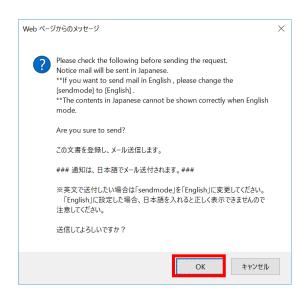
9. 「Additional Message」欄に本文を記載する。



10. 送付先、送付ファイルに誤りがないことを確認し、「Register」ボタンを押下する。



11. 「OK」ボタンを押下する。



12. 「Logout and Close」ボタンを押下し閉じる。

Logout and Close

13. メーラーで、ETRANPOT からの「公開通知」メールを確認する。

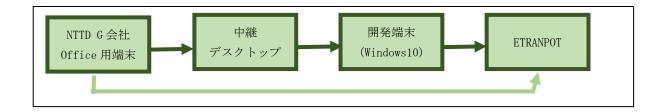


注意

リンク先は下記に読み替えてください。

https://taa-h.groupwide.net/Spot/sd.jsp?sc=

2.2 開発端末から ETRANPOT にアクセスする



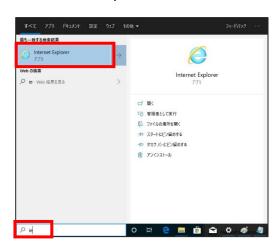
注釈

開発端末の作成および Office 用端末からの接続は、下記スタートアップを参照ください。

- ・【G 会社向け】統合開発クラウド_スタートアップ
 - 2. 事前確認
 - 3. 環境にアクセス

作成した開発端末の設定は下記資料を参照ください。※開発環境から閲覧することはできません。

- ・【参考資料】統合開発セキュリティ基盤サイト Proxy サーバ設定マニュアル
- ・【参考資料】統合開発セキュリティ基盤サイト DNS サーバ設定マニュアル
- 1. 開発端末の[検索窓]に「ie」と入力し「Internet Explorer」ブラウザを開く。



2. [Cortana]の表示は表 2-12-1、または表 2-12-2 のとおりに入力し、「OK」を押下する。

※UDS プロジェクトグループの登録 ID(X-UIM か G-UIM)によって入力項目が変わります。



表 2-12-1 入力内容(UDSプロジェクトグループが X-UIM 登録の場合)

項番	名称	入力項目の説明
1	ユーザー名	japan¥ <x-uim id="" ログイン=""> 入力例: japan¥U123456</x-uim>
2	パスワード	X-UIM アカウントのパスワード

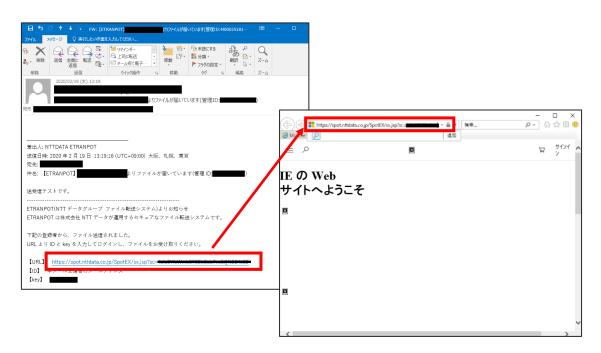
表 2-12-2 入力内容(UDSプロジェクトグループが G-UIM 登録の場合)

項番	名称	入力項目の説明
1	ユーザー名	japan¥ <g-uim アカウント=""> _ <会社識別子> 入力例: japan¥G123456_nttdxxxx</g-uim>
2	パスワード	G-UIM アカウントのパスワード

3. Internet Explorer の設定は「お勧めのセキュリティ・・・」を選択し、「OK」を押下する。



4. ETRANPOT より自分自身のメールアドレス宛に届いた通知の【URL】をアドレスバーに手入力する。

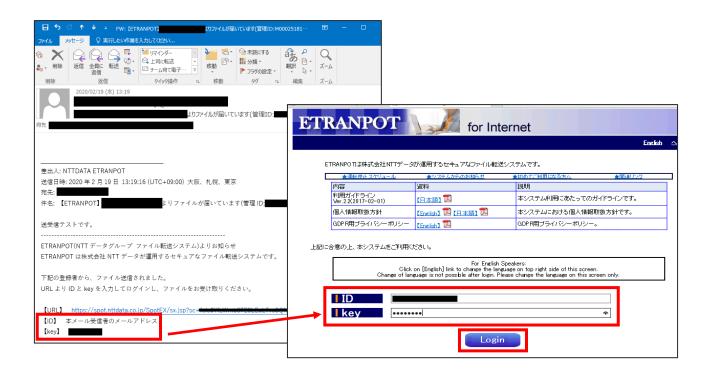


注意

リンク先は下記に読み替えてください。

https://spot-h.nttdata.co.jp

5. アドレス入力後「Enter キー」を押下し、下記画面が表示されたら、「ID」に自分自身のメールアドレス、「Key」に ETRANPOT より届いたメール内に記載されている【Key】の文字列を入力し、「login」を押下する。



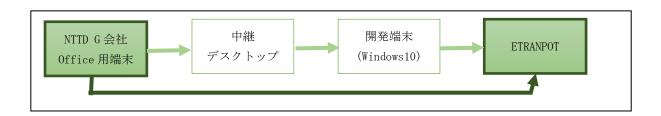
6. 「Dawnload」ボタンを押下し、「保存」ボタンを押下してファイルを保存する。



第3章 開発環境から社内ネットワークの PC ヘファイル送付

この章では、社内ネットワークの PC から GWNet ユーザで ETRANPOT で Internet ユーザを招待し、招待された Internet ユーザでファイルをアップロード、社内ネットワークの PC でファイルを受け取る方法を記述する。

3.1 社内ネットワークの PC で ETRANPOT の招待メールを送付する



1. 社内ネットワークの PC のブラウザ (Internet Explorer) で[ETRANPOT サイト]を開く。

注釈 ETRANPOT サイトの URL: 【https://taa-h.groupwide.net】

2. 「I accept and login」を押下する。



3. [招待文書の作成はこちらから]の「create a new invitation」を押下する



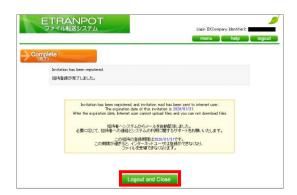
4. [Invitation settings]の「IE-Mail Address」に自分自身のメールアドレスを入力し、「Send」ボタンを押下する。



5. 送信確認画面が表示されるので「OK」を押下する。



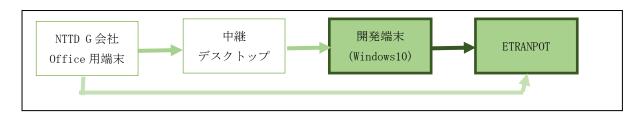
6. 「Logout and Close」を押下する。



7. メーラーで、ETRANPOT からの「ファイルアップロード招待通知」メールを確認する。



3.2 開発端末からファイルを ETRANPOT ヘアップロードする



1. 開発端末のブラウザ(Internet Explorer)でアドレスバーに、ETRANPOT より自分自身のメールアドレス宛に届いた 通知メールに記載の【URL】を手入力する。



2. 「ID」に自分自身の、メールアドレス、「Key」に ETRANPOT より届いたメール内に記載されている【Key】の文字列を入力し、「Login」を押下する。



3. 「参照」を押下し、送付するファイルを選択する。



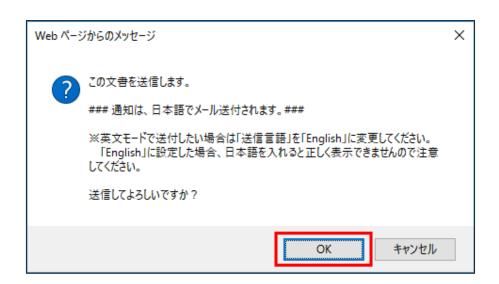
4. 「アップロード」を押下する。



5. 必須事項を入力して、「SEND」を押下する。



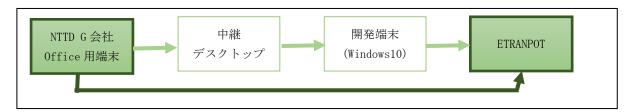
6. [送信確認]画面で「OK」を押下する。



7. 「ログアウト」を押下して ETRANPOT を終了する。



3.3 社内ネットワークの PC でデータを受け取る



1. 社内ネットワークの PC で、ETRANOT から届いたメールの URL を押下する。

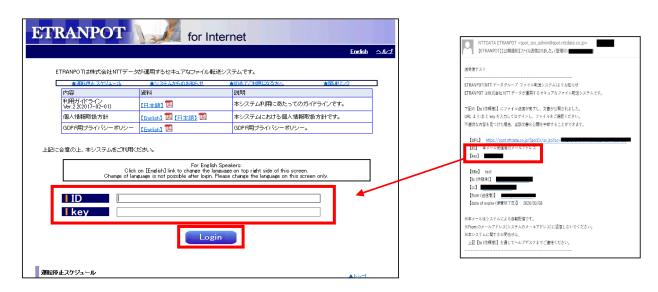


注意

リンク先は下記に読み替えてください。

https://spot-h.nttdata.co.jp

2. 「ID」に自分自身のメールアドレス、「Key」に ETRANPOT より届いたメール内に記載されている【Key】の文字列を入力し、「login」を押下する。



3. 「Download」を押下し、ファイルを保存する。





4. 「ログアウト」を押下して ETRANPOT を終了する。

